



群馬県立がんセンターだより

第31号

発行 平成28年2月 群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

安全で質の高い看護を目指して

平成28年も既に2月に入り、平成23年4月に看護部長を拝命してから早くも5年が過ぎようとしています。看護部は、「看護実践能力の向上を図り質の高いがん看護を提供する」「教育、研究を推進してがん看護を提供する」「働きやすい魅力ある職場環境を整える」を目標に専門職としてキャリアを積み重ねております。

がんセンターは、外来患者数や手術件数の増加に伴い、医師や看護師不足がますます深刻となり、医療サービスの低下が懸念されています。このような状況の中、人材確保に向けて、採用試験の年齢引き上げ、近隣看護学校への訪問、インターンシップ制度の導入、新人看護師のメッセージカード作成、教育・受け入れ体制の見直し等様々な取り組みを県病院局と一体となって行っています。

患者さんやご家族の療養生活において、安心・納得できる医療を提供するには、がん医療の更なる充実、がん医療に関する相談支援や情報提供等が重要です。看護師に期待される役割がますます拡大し重要となっている昨今、看護部では、がん看護専門看護師、化学療法、緩和ケア、感染管理、乳がん、皮膚・排泄ケア、手術室分野の認定看護師が中心となり研修を行っています。昨年度は、「ストーマケアと失禁ケア」について地域の病院、診療所、訪問看護ステーションの看護師を対象にがん看護研修会を開催し、多数の方々に参加して頂きました。

また、院内では、「ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム」を2回実施しました。この研修は、患者さんやご家族の生活及び人生に焦点を当て、その人らしく生きるために最善の選択を支援できるよう、看護師にとって必要とされる能力修得の系統的な教育プログラムになっています。研修受講により看護師として何を大切にしているのか、今後、何を実践するのか明確にすることができたと考えています。

今後も、より優れた看護サービスを提供し、増加していく高齢患者さんに対応するために一人ひとりが自律して、考えた看護を実践できる看護師の育成を目指して参ります。そして、専門分化されていく一方でお互いの関係の大切さや心強さ、人を思いやる気持ちを忘れないよう看護を実践したいと思っておりますので、ご指導よろしくお願ひいたします。



看護部長 萩野 順子

皮膚・排泄ケア認定看護師としての活動

皮膚・排泄ケア認定看護師は褥瘡（床ずれ）^{じよくそう}や創のケア、ストーマ（人工肛門）のケア、失禁などの排泄ケアを専門に行います。

創傷ケアは、褥瘡、化学療法や放射線療法による皮膚障害の予防や治癒の促進、気管孔や胃瘻造設のある方やカテーテル留置中の方の皮膚障害予防などを行います。また、入院患者さんで褥瘡のリスクが高い方には、重点的な褥瘡予防対策計画書を作成します。褥瘡のある患者さんには、褥瘡対策チームと共に褥瘡回診を行い、早期治癒に取り組んでいます。在宅患者さんで褥瘡のリスクが高い方にはMSW（医療相談員）や訪問看護師と連携し、予防対策を行っています。

ストーマケアは、ストーマを造られる方が安心して手術が受けられるように、ストーマのイメージ作りのサポートやストーマの位置決めを行います。手術後はその方に合った装具の選択、セルフケア指導等を病棟看護師と協力して行います。退院後は、ストーマ外来で、セルフケアや日常生活の不安などの相談を受けています。

失禁ケアは、便秘や頻便、頻尿などの症状がある方の排泄コントロールや、その方に合ったオムツの選択、排泄物が原因で起きる皮膚トラブルの予防やケアの他、自己導尿の指導などを行います。自分の力だけでは排尿が難しくなった方が定期的に自己導尿を行うことで、カテーテル留置から解放され、腎機能を正常に保つことができます。泌尿器科医師の指示の下、患者さんに合ったカテーテルの選択、自己導尿指導の実践、定期的なセルフケアの状態確認を行っています。

また、院内、院外の看護師を対象に定期的に研修を行い、質の高い看護実践に向けて看護師教育にも関わっています。



看護部 伊久間 香織

= 行事紹介 =

リレー・フォー・ライフジャパン

平成 27 年 10 月 17 日・18 日、前橋市の群馬県総合スポーツセンターふれあいグラウンドで“リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 ぐんま”が開催され、がんセンターも含めた県内の



企業や医療関係機関 69 チームが参加しました。患者さんや御家族に、闘病中の思いを絵や文字で表していただいたルミノリエを、グラウンドに並べ、サバイバースフラッグ（当日参加できない患者さんに、白い布にカラーペイントで手形を押してもらった旗）も持ち、それぞれの思いを感じながらリレー形式で 24 時間、周りを歩きました。がんと戦う人、共に生きる人、そして支える人、みんなで作りあげたイベントでした。

地域連携室



地域連携室は、患者さんのがん診療における負担を減らすために、地域の医療機関との連携に努めています。

●地域連携室とは●

病院の機能分化という言葉をご存じでしょうか？がん治療の専門病院である群馬県立がんセンターが高度ながん治療を提供する役割を担い続けるためには、がん以外の疾患や風邪等の一般的な症状の診断・治療を行う役割を地域の診療所や総合病院などに担っていただく必要があります。これが病院の機能分化であり、地域の医療機関との連携が不可欠となっています。地域連携室は、当院が質の高いがん治療に専念するために、地域の医療機関との密接な連絡体制の構築と、患者さん一人ひとりに

適した医療機関の把握を行い、地域の医療機関との連携を行っています。

●地域連携による患者さんのメリット●

がんセンターでの治療を終え、容態が落ち着いた患者さんは、身近な医療機関のかかりつけ医に日常の診察や血液検査等を行っていただきます。それにより、患者さんは診察待ち時間の短縮、通院の負担軽減、身近なかかりつけ医に日々の病気に対応してもらえるとといったメリットを享受することができます。もちろん、万一再発の兆候などが見えた時には、再びがんセンターで精密検査や治療を受けていただきます。

●地域連携室は具体的に何をしているの？●

地域連携室は、がんセンターと地域の医療機関のかかりつけ医の間における患者さんの容態に関する情報交換の事務手続きを行っています。患者さんが初めてがんセンターに来院される際に、地域の医療機関からの予約・紹介状を当院のカルテに取り込みます。患者さんが当院で入院して治療を行い、退院される際には、地域の医療機関へ診療情報提供・予約を行います。退院後、地域の医療機関へ通院されている間は、かかりつけ医による診察・血液検査等の情報を受け取り、当院のカルテに取り込んでいます。

=行事紹介②=

患者さんと共に季節を楽しむ会

入院中の患者さんやご家族が、移り行く季節を共に感じ、細やかな喜びと楽しさを感じることができるよう、院内職員の協力のもと季節ごとの催し物を開催しています。春は、桜茶の香りの中でのお花見、夏は七夕に願いを込めて、秋は太鼓の演奏等、冬はクラシックの演奏によるクリスマスソングを聞きながらのコンサート。参加者の方が季節ごとの歌や催しにふれ、自分や家族の思い出と共に、今、一緒に過ごすことの喜びを感じることができるよう企画しています。

出演して下さる皆様には、「患者さんのために」という思いの中、ボランティアでご協力いただいています。本当に感謝しています。これからも、コンサートでの患者さんの素敵な歌声がご家族にとって大切な思い出となるように、活動していきたいと思えます。



がんと上手(うんま)くつきあう会

奇数月の第二土曜日に 講義と茶話会の二部形式で開催しています。第一部では、様々ながんについて各科の専門医からの講義や、検査・食事・薬剤等についてそれぞれの専門の技師からの講義で構成しています。

第二部では、病気との上手な付き合い方を一緒に語らう時間を設けています。温かい雰囲気の中で活発に意見交換が行われています。

平成28年1月9日(土)の講演は「自分の中のがんが生まれた(講師:鹿沼達哉病院長)」、「最近の放射線治療(講師:江原威放射線治療部長)」でした。



外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成28年1月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来) 藤本 栄	藤本 栄		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏		尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 小野里良一		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎
精神腫瘍科				村上 忠			
						(ストーマ外来)	
第二外来	婦人科	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫	中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫		中村 和人	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 木暮 圭子 西村 俊夫	
	歯科口腔外科	新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣	
	頭頸科	鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)	
				鈴木 政美 江口紘太郎 (午後新患)		鈴木 政美 井田 翔太 (午後新患)	
	麻酔科	高橋 利文			家島 仁史 内田 慎也		
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)		清水 信明 蓮見 勝 村松 和道	清水 信明 蓮見 勝	
		(1日リンパ外来)					
放射線科	放射線	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	江原 威謙 安藤 謙 川原 正寛	

※緩和ケア外来の受診を希望される方は“がん相談支援センター”へお問い合わせください。直通電話：0276-60-0679

冬季流行感染症（インフルエンザ・感染性胃腸炎）の感染防止のお願い

- ・冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期です。感染症の持ち込みを防ぐため、お急ぎでない場合には、面会をお控えください。
- ・発熱、咳、鼻水、のどの痛み、嘔吐、下痢などの症状がある方、冬季流行感染症にかかってから1週間未満の方、抵抗力の弱い子供さん（12歳以下）の面会をご遠慮ください。
- ・来院の際は、手指消毒をお願いします。また、院内ではマスクの着用をおすすめします。

<ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします>

診察予約（初診、再診ともに予約制です。）

・初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状（診療情報提供書）をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

・がん検診について

当センターでは、がんの検診（一次検診）は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

予約電話 0276-38-0762

- ・受付時間：午前9時から午後5時（休診日を除く）
- ・電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。

※休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分～午後7時30分

群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL **0276-38-0771** (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

